

教育内容

基礎分野（14単位 370時間）

科学的思考の基礎（4単位 120時間）

科目名	単位・時間	進 度	授業の目標及びテーマ
物理学	1単位 30時間	1年前期	1. 人間生活で起こる物理的現象を科学的に理解する。 2. 医療に用いられる器具・技法を物理学的に理解し、効果的に活用できるための基本を学ぶ。
社会学	1単位 30時間	3年前期	1. 社会学の基礎を学び、社会的存在としての人間を理解する。 2. 社会言動が社会的存在としての人間の社会に与える影響を理解する。 3. 事例を通して社会保険と社会学の関係性およびその重要性を理解する。
統計学	1単位 30時間	3年前期	1. 現象を科学的に捉え表現するため、諸現象の分析や比較の過程をとおして、手法を理解する。 2. コンピューターを使用した情報処理と看護実践で取り扱う情報内容とその取り扱い方、危険性について理解する。
哲 学	1単位 30時間	1年後期	様々な思想家の残した言葉にふれながら、そこで示されたテーマを自ら考え、以下の点を学ぶ。 1. 人間社会の諸現象を捉える考え方、見方について学ぶ。 2. 生命観・社会観・患者観を形成する基礎を学ぶ。

人間と生活・社会の理解（10単位 250時間）

科目名	単位・時間	進 度	授業の目標及びテーマ
心理学	1単位 30時間	1年前期	1. 看護の対象は成長発達し、その個人は社会的存在であると同時に心理的、情緒的個性を持つ存在であることを学ぶ。 2. 人間関係論・発達心理学・臨床心理学を中心に学び、看護の対象である人間を理解するための人間の内面（心）について理解していく。
教育学	1 単位 30時間	3年前期	現在の子ども・若者が抱える発達・成長の具体的な問題を検討することを通して 1. 人間が成長・発達と学習、そして社会について探究し、教育の役割について考える。 2. 人が学習することの意味について学び、教育を受ける権利と義務について考える。 3. コミュニケーションの姿を考える。

科目名	単位・時間	進 度	授業の目標及びテーマ
外国語Ⅰ 英語	1単位 30時間	1年後期	<ol style="list-style-type: none"> 1. 英語の基礎力を高め、国際社会に対応する能力を養う。 2. 英文読解、英文和訳、英会話などに関する基礎的英語を学ぶ。 3. 簡単な医療英語にふれ、医療関係の専門用語に親しむ。 4. 医療英語を学び、看護の場面で実際に活用できる基礎的能力を身につける。
外国語Ⅱ 英語	1単位 30時間	2年後期	<ol style="list-style-type: none"> 1. 英語の基礎力を高め、国際社会に対応する能力を養う。 2. 英文読解、英文和訳、英会話などに関する基礎的英語を学ぶ。 3. 簡単な医療英語にふれ、医療関係の専門用語に親しむ。 4. 医療英語を学び、看護の場面で実際に活用できる基礎的能力を身につける。
外国語Ⅲ 英語	1単位 30時間	3年前期	<ol style="list-style-type: none"> 1. 英語の基礎力を高め、国際社会に対応する能力を養う。 2. 英文読解、英文和訳、英会話などに関する基礎的英語を学ぶ。 3. 簡単な医療英語にふれ、医療関係の専門用語に親しむ。 4. 医療英語を学び、看護の場面で実際に活用できる基礎的能力を身につける。
外国語Ⅳ (選択必修) 中国語 スペイン語 韓国語	1単位 20時間	2年前期	外国語の学習を通して、異なる文化に触れ、国際的視野および自らの視野を広げる。
芸 術 (選択必修) 音楽 美術	1単位 20時間	1年前期	芸術活動を通して、豊かな感性・協調性・創造性・表現力を養う。
保健体育Ⅰ (選択必修) キャンプ スキー	1単位 20時間	1年前期/後期	<ol style="list-style-type: none"> 1. キャンプ・スキーなど野外活動を通じた身体活動、集団生活の体験から、自己の生活や心身の健康について考える機会とする。 2. 自然との好ましい関わりを体験し、仲間と心地よい生活をおくるための自己の行動や役割を考えることができる。
保健体育Ⅱ (選択必修) キャンプ スキー	1単位 20時間	2年前期/後期	<ol style="list-style-type: none"> 1. キャンプ・スキーなど野外活動を通じた身体活動、集団生活の体験から、自己の生活や心身の健康について考える機会とする。 2. 自然との好ましい関わりを体験し、仲間と心地よい生活を送るための自己の行動や役割を考えることができる。また、自己と他者の役割を意識しながら行動することができる。
保健体育Ⅲ (選択必修) キャンプ スキー	1単位 20時間	3年前期/後期	<ol style="list-style-type: none"> 1. キャンプ・スキーなど野外活動を通じた身体活動、集団生活の体験から、自己の生活や心身の健康について考える機会とする。 2. 自然との好ましい関わりを体験し、仲間と心地よい生活をおくるための自己の行動や役割を考えることができる。 3. プログラムの目的を達成するためのマネジメントができる。

専門基礎分野（21単位 555時間）

人体の構造と機能（6単位・180時間）

科目名	単位・時間	進 度	授業の目標及びテーマ
解剖生理学Ⅰ	2単位 60時間	1年前期	1.看護の対象を身体的側面からとらえるための基礎となる人体の機能、構造を学ぶ。 2.人間の生命と生活を支える人体の構造と機能が様々な意味や広がり、関連があることを学ぶ。 3.各器官系統の構造と機能について学ぶ。 「栄養の消化と吸収」「呼吸器の構造・機能」「血液」「循環器系の構成」 「からだの支持と運動」「腎臓・排泄路・体液の調節」「生殖・発生と老化のしくみ」 「外部環境からの防御」
解剖生理学Ⅱ	2単位 60時間	1年前期	1.看護の対象を身体的側面からとらえるための基礎となる人体の機能、構造を学ぶ。 2.人間の生命と生活を支える人体の構造と機能が様々な意味と広がり、関連があることを学ぶ。 3.各器官系統の構造と機能について学ぶ。 「生理学概論」「細胞組織と機能」「内臓調節」 「情報の受容と処理 1」「情報の受容と処理 2」
解剖生理学演習	1単位 30時間	1年後期	演習を通して看護の対象となる人体の機能と構造、フィジカルアセスメントの基礎を学ぶ。 また生体のメカニズムと対症看護を知ることにより事例に必要な具体的な看護とその根拠について考える。
生化学	1単位 30時間	1年後期	患者をありのままにとらえるための基礎となる生体を形づくる成分や、物質、およびそれらの機能と化学的変化などの生命現象を学ぶ。

疾病の成り立ちと回復の促進（9単位・270時間）

科目名	単位・時間	進 度	授業の目標及びテーマ
微生物学	1単位 30時間	1年前期	1.微生物の生態と生命活動を営んでいる人体との関連について理解する。 2.患者の安全や感染予防の重要性がわかり、消毒と滅菌に関する正しい知識と態度を学ぶ 3.病気の歴史的、社会的背景から微生物を学び、疾病構造の変化を理解できる能力を養う。
病理学Ⅰ	1単位 30時間	1年後期	解剖生理学、生化学の学習を基礎に、疾病の病態を科学的にとらえ、患者の症状としてどのように現れてくるのかについて学ぶ ①病理学の定義 ②先天異常 ③代謝障害 ④循環障害 ⑤炎症と免疫 ⑥腫瘍
病理学Ⅱ-1	1単位 30時間	1年後期	呼吸器疾患と消化器疾患の症状、病態生理、経過、検査、治療法について学ぶ。

科目名	単位・時間	進 度	授業の目標及びテーマ
病理学Ⅱ-2	1単位 30時間	1年後期	循環器疾患と血液疾患、および腎・泌尿器疾患の症状、病態生理、経過、検査、治療法について学ぶ。
病理学Ⅱ-3	1単位 30時間	2年前期	腹部・胸部疾患の外科的治療、運動器疾患と治療、心臓・脈管系の外科的治療について学ぶ。
病理学Ⅱ-4	1単位 30時間	2年前期	代謝疾患、脳神経疾患、アレルギー性疾患、感染症、膠原病の症状、病態生理、経過、検査、治療法について学ぶ。
リハビリテーション学	1単位 30時間	2年前期	1.全人的復権としてのリハビリテーションの理念とその方法論について学ぶ。 2.リハビリテーション看護の基本的知識と技術の基礎を学ぶ。
薬理学	1単位 30時間	2年前期	1.健康回復を促進させる薬物療法を理解するために薬物の基礎的性状および、作用・適用・調剤に関する基本的な事柄を理解する。 2.健康回復を妨げないための薬物の安全と副作用に関して理解できる能力を養う。
栄養学	1単位 30時間	2年後期	1.生命活動を保障するために不可欠な栄養素の種類と生体内での代謝に関する知識を基に、栄養摂取、栄養と食品、食生活と栄養について学ぶ。 2.健康回復のために対象の病態に応じた病態栄養学について学び、食事療法における指導的関わりに生かせるようにする。

健康支援と社会保障制度（6単位・105時間）

科目名	単位・時間	進 度	授業の目標及びテーマ
保健医療論Ⅰ	1単位 15時間	1年前期	1.医療技術の発展とともに起こっている生命倫理の諸問題を学び、医療や看護の倫理について考察できる能力を養う。 2.社会発展の歴史と関連させて人間・健康・患者の要求、医療・及び看護の歴史と現代的課題について考える。 3.看護に関わる医療制度・医療政策について理解し看護者としての役割を理解する。
保健医療論Ⅱ	1単位 15時間	3年前期	1.医療技術の発展とともに起こっている生命倫理の諸問題について学び、医療や看護の倫理について考察できる能力を養う。 2.社会発展の歴史と関連させて人間・健康・患者の要求、医療及び看護の歴史と現代的課題について考える。

科目名	単位・時間	進 度	授業の目標及びテーマ
公衆衛生学	2単位 30時間	3年前期	生活環境や文化、教育、生活習慣などが人々の健康に及ぼす影響について理解し、予防の視点ををふまえた看護活動を行う上で必要な知識を身につける
社会福祉	2単位 45時間	3年前期	<ol style="list-style-type: none"> 1.人間の生きる権利と、それを保障する社会福祉制度の実態を調査し、日本国憲法に照らして本来あるべき社会保障制度のあり方について考察する。 2.健康を社会発展の歴史から捉える。 3.患者の要求を権利として認め、患者とともに健康回復の取り組みを進め、安心して健康回復ができる保障を実現するための看護の役割を考える。 4.患者の社会福祉に対する要求を捉え、その本質をつかみ健康や障害の状況に応じた社会資源の活用の実態から他職種と連携し、解決手段が見出せる基本的能力を養う。

専門分野 I (18単位・495時間)

基礎看護学 (15単位・360時間)

科目名	単位・時間	進 度	授業の目標及びテーマ
看護学概論 I	2単位 45時間	1年前期	<ol style="list-style-type: none"> 1.看護の対象となる人間を理解し、権利としての健康について学ぶ。 2.看護の変遷をたどりながら、看護の本質を学び、現代社会の患者・利用者の多様な医療ニーズをとらえた看護者としての倫理観を明確とする。 3.代表的な看護理論とその概念の特徴を学び、科学的に看護を展開するための考え方を身につけ看護実践に理論的な根拠がもてる力を養う。
看護学概論 II	1単位 20時間	3年前期	<ol style="list-style-type: none"> 1.これまでの看護実践及び講義、理論と関係づけながら、理論化し自己の看護の核となる人間観・社会観・患者観を明らかにし、看護観を構築する。 2.患者の要求を捉えるとはどのようなことか、看護とは何かを追求し、看護の役割について自己の考えを明らかにする。
看護学概論 III	1単位 30時間	1年後期	<ol style="list-style-type: none"> 1.戴帽式の取り組みを通じ、同じ志をもつ仲間への信頼を深め、看護者として歩む自分に確信を深める。 2.入学後 6ヶ月を経た自分を振り返る。 3.戴帽式の取り組み過程を通じ、多様な意見を受け入れ、また、自己を表現できる力を養う。 4.看護師を目指す仲間と自分を信頼した集団に成長する力を養う。
基礎看護技術 I	2単位 60時間	1年前期/後期	<ol style="list-style-type: none"> 1.看護技術は専門的な知識に基づいて、対象の安全・安楽、自立・個別性を目指した意図的・直接的な看護行為であることを学ぶ。 2.看護における「技術」の意味を学び、自己の看護技術を修得し向上ができる。 3.文章読解力、論理的思考力、表現力を身につけ、自己の考えを適切に表現するための学習方法を学ぶ。 4.患者の要求を正しく認識し、専門職業人としての看護技術が提供できる基礎的能力を養う。
基礎看護技術 II -1	2単位 60時間	1年前期	<p>人間の生命活動及び生活行動を助けるための看護援助技術を学ぶ。</p> <p>①環境 ②清潔 ③運動・活動・休息、ボディメカニクス</p>
基礎看護技術 II -2	1単位 30時間	1年前期	<p>人間の生命活動及び生活行動を助けるための看護援助技術を学ぶ。</p> <p>①食事 ②排泄</p>
基礎看護技術 III	1単位 20時間	1年前期	<p>看護専門職としての的確な判断と適切な技術を提供するための基礎となるフィジカルアセスメントの知識・技術を学ぶ。</p> <p>①フィジカルアセスメント ②バイタルサイン ③観察・記録・報告</p>

科目名	単位・時間	進 度	授業の目標及びテーマ
基礎看護技術Ⅳ	1単位 20時間	2年前期	薬物治療に伴う看護援助技術について学ぶ。 ①与薬
基礎看護技術Ⅴ	1 単位 30時間	1年後期	1. 院内感染防止の基本を知り、標準予防策及び無菌的操作技術を学ぶ。 2. 身体侵襲に影響する援助の基本知識と看護を学ぶ。 3. 検査・処置介助に伴う基礎知識と基本的な技術を学ぶ。 ①感染予防 ②身体侵襲に影響する援助（排泄障害時の看護、スキンケア・創処置） ③検査・処置介助
基礎看護技術Ⅵ-1	1単位 15時間	1年後期	1. 適切な看護実践につなげるための思考過程を学ぶ。 2. 看護過程の第1段階である患者の情報を正確に捉え解釈・分析する能力を養う。 3. 事例を通して患者の事象から論理的な思考に基づいて病態の理解ができる。 4. 病態の理解に向けた学習方法と理解した内容を表現する方法を学ぶ（看護過程総論）。
基礎看護技術Ⅵ-2	1単位 15時間	2年前期	1. 患者の要求を正しくつかみ、患者の個別的な看護を実践するための一連の思考過程について学ぶ。 2. 事例を通して患者の情報を正確に捉え解釈・分析、看護の必要性を明確にしたアセスメントなど意図的な看護実践に結びつける看護計画の立案と結果評価までの看護過程を理解し、文章で表現する力を養う。 3. 事例を通して患者の全体像を構造的に理解する関連図作成の手法を学ぶ（看護過程各論）。
基礎看護技術Ⅶ 看護情報学	1単位 15時間	2年前期	1. 看護の専門性を発揮するために必要な情報とコミュニケーションについて学ぶ。 2. 情報を扱う上で必要となる倫理的な配慮について学ぶ。 3. 看護情報を知識化するための手法やデータの動的な分析法、インターネットの専門的利用法を学ぶ。 4. 情報を適切な看護実践につなげるための科学的思考を学ぶ。

この他、臨地実習（基礎看護学実習Ⅰ、Ⅱ）として3単位、135時間が含まれる。

専門分野Ⅱ（39単位・1320時間）

成人看護学（7単位・195時間）

科目名	単位・時間	進 度	授業の目標及びテーマ
成人看護総論Ⅰ	1単位 30時間	1年後期	<ol style="list-style-type: none"> 1.成人期の発達課題の特徴と現代社会における健康問題について学ぶ。 2.成人への看護アプローチの基本を学ぶ。 3.成人期にある人の様々な健康段階にある対象への看護を学ぶ（急激な健康破綻にある人、慢性的な健康状態にある人）。 4.学習者である患者への看護技術を学ぶ。
成人看護総論Ⅱ	1単位 15時間	2年前期	<ol style="list-style-type: none"> 1.成人期における対象の特徴を生活史と労働の観点から理解する。 2.健康問題の発生要因が日常生活と深く密着していることを理解し、健康の保持・増進、予防のための方法を学ぶ。 3.成人期における対象の生活と労働の実態を知り、生活、労働と健康との関係について体験的に考える。
成人看護総論Ⅲ	1単位 30時間	2年前期	<ol style="list-style-type: none"> 1.成人期の健康障害が対象の社会生活や家族及び社会に及ぼす影響を理解する。 2.健康問題の発生要因が日常生活と深く密着していることを理解し、健康の保持・増進、予防のための方法を学ぶ。 3.さまざまな健康段階にある対象の健康に対する要求を明らかにし、看護の果たすべき役割を学ぶ（終末期を含む）。 4.成人期にあるがん患者の身体的・精神的・社会的苦痛を総合的に理解し、根拠に基づいた看護を学ぶ。
成人臨床看護Ⅰ	1単位 30時間	1年後期	<ol style="list-style-type: none"> 1.健康回復を支援するための特徴的な治療、検査について理解し、看護の必要性を学ぶ。 2.各疾患に関連する検査法について理解し、検査における看護の役割を学ぶ。 ①臨床検査 ②放射線医学
成人臨床看護Ⅱ	1単位 30時間	1年後期	<p>各疾患の病態生理、症状、経過、検査、治療法を理解し、それらに必要な看護について学ぶ。</p> <p>①呼吸器疾患看護 ②消化器疾患看護 ③循環器疾患看護</p>
成人臨床看護Ⅲ	1単位 30時間	2年前期	<p>各疾患の病態生理、症状、経過、検査、治療法を理解し、それらに必要な看護について学ぶ。</p> <p>①内分泌疾患看護 ②脳神経疾患看護 ③血液疾患看護 ④腎疾患看護</p>
成人臨床看護Ⅳ	1単位 30時間	2年後期	<ol style="list-style-type: none"> 1.外科的治療の特徴を理解し必要な看護を学ぶ。 2.手術によっておこる生体反応を学び、術後合併症の予防に向けた看護を学ぶ。 3.手術に向かう患者の心理を理解する。 ①外科看護 ②運動器疾患看護 ③周手術期看護

この他、臨地実習（成人看護学実習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ）として6単位、270時間が含まれる。

老年看護学（4単位・90時間）

科目名	単位・時間	進度	授業の目標及びテーマ
老年看護総論Ⅰ	2単位 30時間	1年後期	<ol style="list-style-type: none"> 1. 老年期にある対象の老化に伴う各種機能の変化をつかみ、発達しつづける存在としての老人観を学ぶ。 2. 対象の生活史をとらえ、人権を尊重する知識と態度を養う。 3. 対象の健康をとりまく家族・地域・社会環境から捉え、人権を守り、より良く生きるための保健・医療・福祉政策について学ぶ。
老年看護総論Ⅱ	1単位 30時間	1年後期	<p>体験や演習を通して、高齢者の生活機能の観点からアセスメントし、看護に生かす力を養う。</p>
老年臨床看護	1単位 30時間	1年後期	<ol style="list-style-type: none"> 1. 老年期の健康問題の特徴をふまえ、より良く生きるための 看護の役割を学ぶ。 2. 老年期の発達をふまえ、老年期における疾病とその経過の 特徴を学ぶ。 3. 老年期にある患者の医療要求を実現させるための医療チームおよび看護の役割を学ぶ。 4. 老年期における終末期の看護を考える。 5. 認知症のある高齢者への看護を学ぶ。

この他、臨地実習（老年看護学実習Ⅰ、Ⅱ）として4単位、180時間が含まれる。

小児看護学（4単位・105時間）

科目名	単位・時間	進度	授業の目標及びテーマ
小児看護総論Ⅰ	1単位 15時間	1年後期	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新生児～思春期（青年期）における形態的成長、機能的発達、精神・運動機能の発達を理解し、人間として成熟していく過程を知る。 2. 成長発達に影響を及ぼす諸要因を知り、発達には個別性があることを理解する。 3. 障害や重い疾患を持っていても発達する可能性を持っているという発達観を学び、子供の発達過程における健康の意味について考える。 4. 子供の権利条約、児童憲章などの学習を通して子供の人権について学ぶ。
小児看護総論Ⅱ	1単位 30時間	2年前期	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子供の成長発達の理解を土台に、それを保障するための保健政策や福祉について学び、発達段階に応じた保健指導のあり方について理解する。 2. 小児の健やかな発達を促す看護の役割と看護の技術を理解する。 3. 成長発達を促す、子供の生活や遊びについての援助を学ぶ。
小児臨床看護Ⅰ	1単位 30時間	2年前期	<p>小児期に特徴的な疾患や障害について、その症状と発症および経過の特性、治療及び検査について理解する。</p>
小児臨床看護Ⅱ	1単位 30時間	2年後期	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子供の成長発達や疾患の経過の特性をふまえ、正確に病態をつかむための観察の重要性や苦痛を除去し回復を促進するための援助の方法について学ぶ。 2. 治療や検査を子供がその成長発達なりに理解し、病気と闘う主体者になれるような保健指導のあり方を学ぶ。 3. 病気や障害の子供を持つ家族の看護上の問題について理解し、看護の役割を学ぶ。

母性看護学（4単位・105時間）

科目名	単位・時間	進 度	授業の目標及びテーマ
母性看護総論Ⅰ	1単位 15時間	1年後期	人間の性と生殖の持つ意味、メカニズムを科学的に理解し、“人権の尊重・自由と責任・男女の平等・連帯と責任のあり方”および母性の視点から「健康」について考える。
母性看護総論Ⅱ	1単位 30時間	2年前期	1.人間の成長発達過程と母性との関連を学び、母性看護の目的と看護の役割を考える。 2.母性を取り巻く社会環境の変化と母性看護の変遷を理解し、健全な性・生殖、母性の発達を保障するための母子保健活動について理解する。
母性臨床看護Ⅰ	1単位 30時間	2年前期	1.周産期の生理的特徴を理解し、正常・異常について学ぶ。 2.新生児の生理的特徴を理解し、正常・異常について学ぶ。
母性臨床看護Ⅱ	1単位 30時間	2年後期	1.周産期看護の看護技術を学ぶ。 2.新生児看護の看護援助を学ぶ。

この他、臨地実習（母性看護学実習）として2単位、90時間が含まれる。

精神看護学（4単位・105時間）

科目名	単位・時間	進 度	授業の目標及びテーマ
精神保健Ⅰ	1単位 15時間	1年前期	自己を開放し、自由に自己表現していくことを通し、自己理解、他者理解を深める。
精神保健Ⅱ	1単位 30時間	2年後期	1.精神医療の歴史を学び、精神障害を持つ人々の人権について考える。 2.「精神の健康」に関する基本概念を理解し、精神の健康を保障していく精神保健の意義を学び、看護の役割について考える。
精神臨床看護Ⅰ	1単位 30時間	3年前期	精神に障害を持つ人の病態を理解し、社会参加を保障する治療や検査を学び、対象の人権を守る看護者としての態度を養う。

科目名	単位・時間	進 度	授業の目標及びテーマ
精神臨床看護Ⅱ	1単位 30時間	3年前期	<ol style="list-style-type: none"> 1.精神の健康問題に直面している患者に対する看護の役割を学ぶ。 2.精神に障害をもつ人の社会参加のために、保健・医療・教育に従事する人々がどのような役割を果たしているか、また、家族や地域住民も含めた、ネットワークを理解し、看護の役割について学ぶ。 3.精神障害の病態を科学的にとらえ、生活史を総合し対象を捉える重要性について学ぶ。

この他、臨地実習（精神看護学実習Ⅰ、Ⅱ）として2単位、90時間が含まれる。

統合分野（13単位・380時間）

在宅看護論（4単位・105時間）

科目名	単位・時間	進 度	授業の目標及びテーマ
地域看護総論Ⅰ	1単位 15時間	1年後期	地域看護とは何かを理解し、対象者は地域で生活する全ての人々であること、対象者の健康問題を科学的な視点で捉え、多様な健康要求を把握するための基礎的な看護について理解する。
地域看護総論Ⅱ	1単位 30時間	1年後期	地域保健医療福祉活動について学び、そこでの看護師の役割を理解すること、その現状と課題について学ぶ。
地域看護活動論Ⅰ	1単位 30時間	2年前期	1.地域看護の活動が公衆衛生看護、在宅看護、産業看護、学校保健の4つの領域で行なわれていることを理解し、それぞれの看護の特徴と連携について学ぶ。 2.各領域の対象者とその健康問題の実際を知り、その背景について考察し、地域看護に必要な基本的な知識・技術について学ぶ。
地域看護活動論Ⅱ	1単位 30時間	3年前期	1.健康障害を持ちながら地域で生活する対象者や、在宅における終末期看護について理解する。 2.対象者の状態に応じた看護の実際と、地域保健医療福祉機関の連携、他職種との協働について、その他の専門領域の知識・技術を応用、統合しながら学ぶ。

看護の統合と実践（5単位・95時間）

科目名	単位・時間	進 度	授業の目標及びテーマ
看護管理学	1単位 20時間	3年前期	1.看護管理の目的、機能、看護管理者の役割などを学ぶ。 2.チーム医療や他職種との連携・協働における看護師としてのメンバーシップ、リーダーシップについて理解し、看護マネジメントの基礎的な能力を養う。
国際看護学 災害看護学	1単位 15時間	1年後期	国際看護学 看護師として医療・看護の国際的な動向を視野に入れ、国を超えたグローバルな視点から健康増進に関与する看護の特性を学ぶ。 災害看護学 災害時直後から支援できる看護活動における基礎的な知識を学ぶ。
医療安全	1単位 15時間	1 年後期	1.患者や医療従事者自身の安全を守るため、医療事故防止と院内感染防止のための看護技術について学ぶ。 2.医療事故防止に関する知識を学び、専門職業人として患者の安全を守るための意識と態度を養う。 3.院内感染予防に関する基礎的な知識の獲得と感染予防に関する技術を確実に獲得する。

科目名	単位・時間	進 度	授業の目標及びテーマ
看護研究	1 単位 30時間	2年後期	<ol style="list-style-type: none"> 1.看護研究に関する基礎知識を学び、研究的視点の持てる看護者を目指す。 2.受け持ち症例をケーススタディとしてまとめることで、日常の看護実践を科学的、理論的に分析できる基礎的な姿勢と手法を学ぶ。 3.自己の看護観を再構築し卒業後の自己の看護者としての姿につなげることができる。
看護技術演習	1 単位 15時間	3年前期	<ol style="list-style-type: none"> 1.卒業までに履修した基礎看護技術の総合的な評価を行なう。 2.事例等に対して、必要な看護技術を適用し、連動させた看護技術の実施を評価する。

この他、臨地実習（地域看護学実習、統合実習）として4単位、180時間が含まれる。

カリキュラム進度表

(2019年)

	科目名	担当講師	単位	時間	1年次		2年次		3年次		評価形式					
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	筆記試験	総合評価	レポート評価	評価表		
基礎分野	科学的思考の基盤	物理学	竹内 智	1	30	30						○				
		社会学	高木寛之	1	30					30				○		
		統計学	山田伸志	1	30					30					○	
		哲学	藤谷 秀	1	30		30								○	
	人間と生活・社会の理解	心理学	文珠紀久野	1	30	30							○			
		教育学	高橋英児	1	30					30					○	
		外国語Ⅰ	三満田美恵	1	30		30						○			
		外国語Ⅱ	三満田美恵	1	30			30					○			
		外国語Ⅲ	三満田美恵	1	30					30			○			
		外国語Ⅳ(スペイン語)	堀内・カロラ・エミ	1	20											
		外国語Ⅳ(韓国語)	洪 昌憲(ホンチャンヒョ)				20							○		
		外国語Ⅳ(中国語)	林 吟貞													
		芸術(音楽)	七澤秀人	1	20	20									○	
		芸術(美術)	竹下みさお													
		保健体育Ⅰ	川村協平	1	20	20	※20								○	
		保健体育Ⅱ	川村協平	1	20			20	※20						○	
保健体育Ⅲ	川村協平	1	20					20	※20				○			
単位					4	2	2	1	5		6	5	3			
小計			単位	時間数	100	60	40	30	140	0						
合計			14	370	160		70		140							

※は選択(キャン・スキー)

	科目名	担当講師	単位	時間	1年次		2年次		3年次		評価形式				
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	筆記試験	総合評価	レポート評価	評価表	
専門基礎分野	人体の構造と機能	解剖生理学Ⅰ ①栄養と消化②身体の支持と運動③体液調節④血液⑤呼吸器⑥循環⑦生殖器⑧防御	①②③小山勝弘④押領司氏、⑤河西光子⑥梶原奈津子⑦河野朝呼⑧塩澤詩徳	2	60	60							○		
		解剖生理学Ⅱ ①生理学概論②細胞・組織と機能③情報の受容と処理1・2④内臓調節	①小山勝弘、②武田勝彦、③新藤裕治④鈴木美緒	2	60	60								○	
		解剖生理学演習	藤本未央、森澤朋子 梶原奈津子	1	30		30							○	
		生化学	長沼孝文	1	30		30							○	
	疾病の成り立ちと回復の促進	微生物学	渡辺浩二	1	30	30							○		
		病理学Ⅰ	畑 日出夫	1	30		30						○		
		病理学Ⅱ-1 ①呼吸器疾患②消化器疾患	①森澤朋子(Dr.) ②加藤昌子他医師	1	30		30						○		
		病理学Ⅱ-2 ①循環器疾患 ②腎・泌尿器疾患 ③血液疾患	①臨床看護師または医師 ②大森泉(Ns.) ③押領司 氏	1	30		30						○		
		病理学Ⅱ-3 ①外科的治療 ②運動器疾患と外科的治療 ③心臓・脈管系疾患の外科的治療	①内藤恵一、他外科医 ②三井一義(Dr.) ③浅川英一(Dr.)	1	30		30						○		
		病理学Ⅱ-4 ①代謝疾患 ②脳神経疾患 ③アレルギー・感染症・膠原病	①鈴木美緒 ②新村浩透・瀧瀬康洋 ③森澤朋子	1	30		30						○		
		リハビリテーション学	①太田昭生 ②野澤由季(Ns) ③セラピスト(OT/PT/ST)	1	30		30						○		
		薬理学	白倉洋朗	1	30		30						○		
		栄養学	管理栄養士	1	30			30					○		
		社会保健制度と健康支援	保健医療論Ⅰ	内藤恵一、今井 拓、小泉京子	1	15	15								○
	保健医療論Ⅱ		木内正治	1	15				15					○	
	公衆衛生学		秋山侑佳	2	30				30				○		
	社会福祉		河野朝子、奥田仁美MSW 他	2	45				45						○
	単位					6	5	4	1	5		16	3	2	
	小計			単位	時間数	165	150	120	30	90	0				
合計			21	555	315		150		90						

	科目名	担当講師	単位	時間	1年次		2年次		3年次		評価形式				
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	筆記試験	総合評価	レポート評価	評価表	
専門分野Ⅰ	基礎看護学	看護学概論Ⅰ 看護の基礎概念 看護理論	小泉京子、河西光子 押領司 民	2	26 19	45							○		
		看護学概論Ⅱ	河西光子	1	20				20					○	
		看護学概論Ⅲ ヒューマンケアの基礎的な 能力の形成	酒井茉莉耶	1	30		30							○	
		基礎看護技術Ⅰ ①技術②コミュニケーション	①梶原奈津子、河西光子 ②押領司民、戸田延子、窪田恭子 小泉京子	2	60	46	14							○	
		基礎看護技術Ⅱ-1 ①環境②清潔③運動・活動・休息、ボディメカニクス	①岩波美和 ②酒井茉莉耶 ③河野朝呼	2	60	60								○	
		基礎看護技術Ⅱ-2 ①食事②排泄	①藤本未央 ②酒井茉莉耶	1	30	30								○	
		基礎看護技術Ⅲ ①バイタルサイン②フィジカルアセスメント ③観察・記録・報告	塩澤詩徳	1	20	20								○	
		基礎看護技術Ⅳ 与薬	酒井茉莉耶	1	20			20						○	
		基礎看護技術Ⅴ ①感染予防②身体侵襲に影響する援助③検査・処置介助	宮川江里	1	30		30							○	
		基礎看護技術Ⅵ-1 看護過程総論	梶原奈津子	1	15	4	11							○	
		基礎看護技術Ⅵ-2 看護過程各論	梶原奈津子	1	15			15						○	
		臨地実習	基礎看護学実習Ⅰ	基礎看護学実習Ⅰ-1	2	30	30								○
基礎看護学実習Ⅰ-2	60			60											
基礎看護学実習Ⅱ	1			45		45								○	
単位					8	6	3		1		6	10	1	1	
小計					単位	時間数	295	130	50	0	20	0			
合計					18	495	425	50	20						

	科目名	担当講師	単位	時間	1年次		2年次		3年次		評価形式					
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	筆記試験	総合評価	レポート評価	評価表		
専門分野Ⅱ	成人看護学	成人看護総論Ⅰ	塩沢詩徳	1	30		30						○			
		成人看護総論Ⅱ	塩澤詩徳	1	15			15						○		
		成人看護総論Ⅲ	塩澤詩徳、小池賀津江(Ns) 富永弘徳、健診センター保健師	1	30			30						○		
		成人臨床看護Ⅰ ①臨床検査 ②放射線医学	①臨床検査技師 ②放射線技師	1	30		30							○		
		成人臨床看護Ⅱ ①呼吸器疾患看護 ②消化器疾患看護 ③循環器疾患看護	①河西光子 ②酒井茉莉耶 ③武田真弓	1	30		30							○		
		成人臨床看護Ⅲ ①内分泌疾患看護 ②脳神経疾患看護 ③血液疾患看護 ④腎疾患看護	①鈴木美緒 ②新藤裕治 ③押領司民、大島智恵 ④大森 泉(Ns)	1	30			30						○		
		成人臨床看護Ⅳ ①外科看護 ②運動器疾患看護 ③周手術期看護	①②臨床看護師 ③押領司民	1	30				30					○		
		老年看護学	老年看護総論Ⅰ	外部講師、佐々木あゆみ	2	30		30							○	
			老年看護総論Ⅱ	岩波美和	1	30		30							○	
			老年臨床看護	岩波美和	1	30		30							○	
		小児看護学	小児看護総論Ⅰ	藤本未央	1	15		15							○	
			小児看護総論Ⅱ	藤本未央	1	30			30						○	
			小児臨床看護Ⅰ	永井啓二(Dr.) 鶴田真(Dr.) 宇藤千枝子(Dr.) 内藤典子(Dr.) 上嶋准嗣(Dr.) 中込佐知子(Ns.) 佐野大(Ns.)	1	30			30						○	
			小児臨床看護Ⅱ	藤本未央、小児科外来Ns、 小児科病棟Ns、いずみ園・ ひまわり保育士、小児リハセラピスト	1	30				30					○	

専門分野Ⅱ	科目名	担当講師	単位	時間	1年次		2年次		3年次		評価形式				
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	筆記 数	総合 値	レポ-ト 評価	評価表	
母性看護学	母性看護総論Ⅰ	河野朝呼	1	15		15						○			
	母性看護総論Ⅱ	河野朝呼	1	30			30				○				
	母性臨床看護Ⅰ	深澤喜直(Dr.)鶴田統子(Dr.)松上まどか(Dr.)河野朝呼	1	30			30				○				
	母性臨床看護Ⅱ	河野朝呼 他助産師2名	1	30			30				○				
精神看護学	精神保健Ⅰ	松井紀和、押領司 民	1	15	15							○			
	精神保健Ⅱ	斎藤徳仁、中嶋はるか 他	1	30			30				○				
	精神臨床看護Ⅰ	佐藤琢也(Dr.)北病院Dr.	1	30				30			○				
	精神臨床看護Ⅱ	押領司 民、他看護師1名	1	30				30			○				
臨地実習	老年看護学実習Ⅰ		2	90			90							○	
	老年看護学実習Ⅱ		2	90					90					○	
	成人看護学実習Ⅰ		2	90			90							○	
	成人看護学実習Ⅱ		2	90			90							○	
	成人看護学実習Ⅲ		2	90					90					○	
	小児看護学実習	小児看護学実習Ⅰ		2	90			30					○		
		小児看護学実習Ⅱ					60						○		
	母性看護学実習		2	90			90					○			
精神看護学実習	精神看護学実習Ⅰ		2	90				30				○			
	精神看護学実習Ⅱ							60				○			
			単位		1	9	9	12	2	6	17	11	1	10	
小計			単位	時間数	15	210	315	450	90	240					
合計			39	1320	225		765		330						

統合分野	科目名	担当講師	単位	時間	1年次		2年次		3年次		評価形式			
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	筆記 数	総合 値	レポ-ト 評価	評価表
在宅看護論	地域看護総論Ⅰ	宮川江里	1	15		15						○		
	地域看護総論Ⅱ	宮川江里	1	30		30						○		
	地域看護活動論Ⅰ	鈴木美緒	1	30			30						○	
	地域看護活動論Ⅱ	鈴木美緒・梶原奈津子	1	30					30			○		
看護の統 と実践	看護管理学	小泉京子 他	1	20					20			○		
	国際看護学・災害看護学	宮本和子、病棟看護師 他	1	15				15				○		
	医療安全	宮川江里、看護師 他	1	15		15						○		
	看護研究	押領司 民	1	30				30				○		
臨地実習	地域看護学実習	地域看護学実習Ⅰ	2	90					30			○		
		地域看護学実習Ⅱ						60			○			
	統合実習	統合実習Ⅰ	2	90					60			○		
統合実習Ⅱ						30			○					
			単位			3	1	2	5	2	2	10	1	
合計			13	380	0	60	30	45	185	60				
合計			13	380	60		75		245					

合計	単位 合計	総 時間	1年次		2年次		3年次		評価形式			
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	筆記	総合	レポ-ト	評価表
			19	25	19	16	18	8				
			575	610	555	555	525	300				
			1185		1110		825	47	39	8	11	

※前期・後期をまたぐ科目は後期にカウント